



R I. 第2620地区 静岡第2分区
三島西ロータリークラブ

週報

第1797号

事務所 静岡県三島市中央町4番9号 2F
TEL (055) 976-6351 FAX 976-6352
例会場 静岡県三島市本町14-31 みしまプラザホテル
TEL (055) 972-2122
会長 矢野 敏夫 幹事 西本 和夫



広重版画より 三島 朝霧

第1859回例会

2010.10.28(雨)

於：箱根の里

司会

柴崎恵子君

ロータリーソング

「それでこそロータリー」
指揮 佐々木雅浩君

“こんにちは、ようこそ”

ゲスト J A三島函南経済部販売課
伊丹雅治さん

会長挨拶

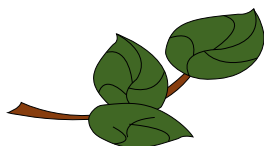
副会長 米山 寛君

私は毎週のように、狩野川に鮎つりに行っております。今年は暑かったせいか彼岸花の咲く時期が例年より2週間ほど遅く、現在はコスモスが真っ盛りです。昨日は寒さが一遍にきたようで、いよいよ冬間近と感じました。今年の冬は厳しい寒さになると予想されております。私共の会社では鍋関連商材を数多く出しておりますので、今年の冬を期待しているところです。

先日配布されたロータリー情報に、4つのテストが昔は6つだったと書かれておりました。その記事を全部読んだのですが、削除された2つのことが書かれておらず、その2つの事が気になっております。ご存知の方は教えて頂きたいと思っておりますので宜しくお願いします。

次年度の編成作業に取り掛からなければならない時期になって参りました。ようやく次年度の会長を引き受けるのだ、という自覚が出てきたところです。永年ロータリーに居たのですが、判らない事ばかりで、これから馬力を掛けて勉強していくつもりです。

皆さんのご支援をお願いし、挨拶の結びとします。



出席報告

	出席総数	出席率	メークアップ	修出席率
前々回	45/53	84.91%	50/53	94.34%
今回	34/50	68.00%	会員総数	55名

欠席者 飯田君、石井(彰)君、石井(良)君、亥角君、岩崎君、遠藤(武)君、遠藤(正)君、小野君、佐野君、鈴木(郁)君、須田君、諏訪部(照)君、千葉君、花房君、矢岸君、渡辺君

幹事報告

幹事 西本和夫君

- ① 11/3 (祭日) のGSE受入及び街頭募金の出席及び御協力をお願いします。☑
- ② 富士山静岡空港プロジェクトより空港利用お願いにまいりました。

2010~2011年度
国際ロータリー会長
レイ・クリンギンスミス

地域を育み、大陸をつなぐ

卓 話

職業奉仕月間

奉仕プロジェクト委員長 野田和秀君



今月は職業奉仕月間です。ロータリーで職業奉仕を云々すると必ず出てくるのが、アーサー・F・シェルドンの言葉であり、ロータリーの第2のスローガンとも言われている「He profits most who serves best」（最もよく奉仕する者、最も多く報いられる）ですが、大リーガーのイチローがアメリカのオバマ大統領の年俸の10倍というのはロータリアンとしてどう理由づけで納得すればよいのでしょうか。そんなことを考えるにつけ正反対の農業を職業にしている人は、後継者もどんどん減って先細りと聞いています。政府もアグリビジネスをバックアップする方向のようですが、アグリビジネスを職業とするロータリアンが将来現れる時代がきっと来るでしょう。そんな期待を持ちながら今日はJAの伊丹様にお話を伺うことにしました。

箱根西麓の野菜づくり

JA三島函南 伊丹雅治さん



農業現場の視点から、皆様に現在の三島市における農業の様子をお伝え出来ればと思っております。三島市の農業は、平野部の水稻及びトマト・イチゴなどが盛んな施設園芸エリアと箱根山の西側、いわゆる箱根西麓というエリアの二つに大きく分けられますが、本日は特に箱根西麓におけるお話です。箱根西麓は、火山灰土で傾斜地であるため非常に排水が良く、また海拔は180m～280mで寒暖の差が

あります。植物にとってはこの厳しい条件が、防衛本能を働かせるため、おいしい野菜が実るといわれています。三島の野菜を流通業界では多くの人が高品質だと評価します。しかし、その素晴らしい野菜の宣伝・広報は末端の消費者までアナウンスされておらず、有利に販売することが出来ませんでした。そこで私は他の業界では当たり前である、広報活動とブランディングに尽力いたしました。宣伝広告費という概念を農家さんに植え付けることから始め、ネット販売を開始するなど、とにかく情報公開に努めました。また「みしまコロッケ」のように、他業種の方々と融合することでブランド力の強化を目指しました。このようにごく当たり前のことが当たり前に出ていないのが農業の現状なのです。他にも、情報が少ない・いい指導者がいない・売り先が見つからない・自然相手のため出荷量が読めない・付加価値が付けられない・経営マネジメントが出来ていない…等々多くの問題点を抱えております。しかし言い換えれば、それらを改善できればビジネスチャンスは見出せると考えられます。農業は伸び代がまだまだ大きい産業ですし、国力にも影響する重要な産業であります。皆様のような異業種で成功された方々との交流を今後も考えておりますので宜しくお願いします。

ROTARY NEWS

R I 会長からのメッセージ

1961年、私はロータリーの親善奨学生としてケープタウン大学で学んでいました。その地で暮らした期間に、6,000マイル（約2,600km）の旅をしました。35のロータリークラブを訪ね、数え切れないほどのロータリアンに会い、私は南部アフリカの豊かな文化に夢中になりました。奨学生としてアフリカに初めて訪れたとき、私はアフリカの伝統や人々の生活における挑戦に関して真価を認めるようになり、この地と人々に対する私の敬意と賞賛の気持ちが、ロータリアンとなってからも幾度となく私をアフリカに呼び戻しました。私は今年度、ロータリアンたちが気軽にアフリカを訪れ、彼らの国際奉仕プロジェクト参加を増やすための二つの奉仕活動を導入しました。一つは「Ray's Rotary Reunions（レイのロータリー同窓会）」で2月3～5日にケープタウンで開かれます。一人でも多くのロータリアンがこのイベントのために、最も汚れなき岬にあるケープタウンに集まってくださることを期待しています。もう一つは、「Rotary Project Safaris（ロータリー・プロジェクト・サファリ）」です。貧困が広がり、地元のロータリアンたちが財政援助を必要とする数多くの有益なプロジェクトを開発している地域に、ロータリアンたちの訪問を容易にする奉仕活動です。

（週報担当：柳田英雄）